

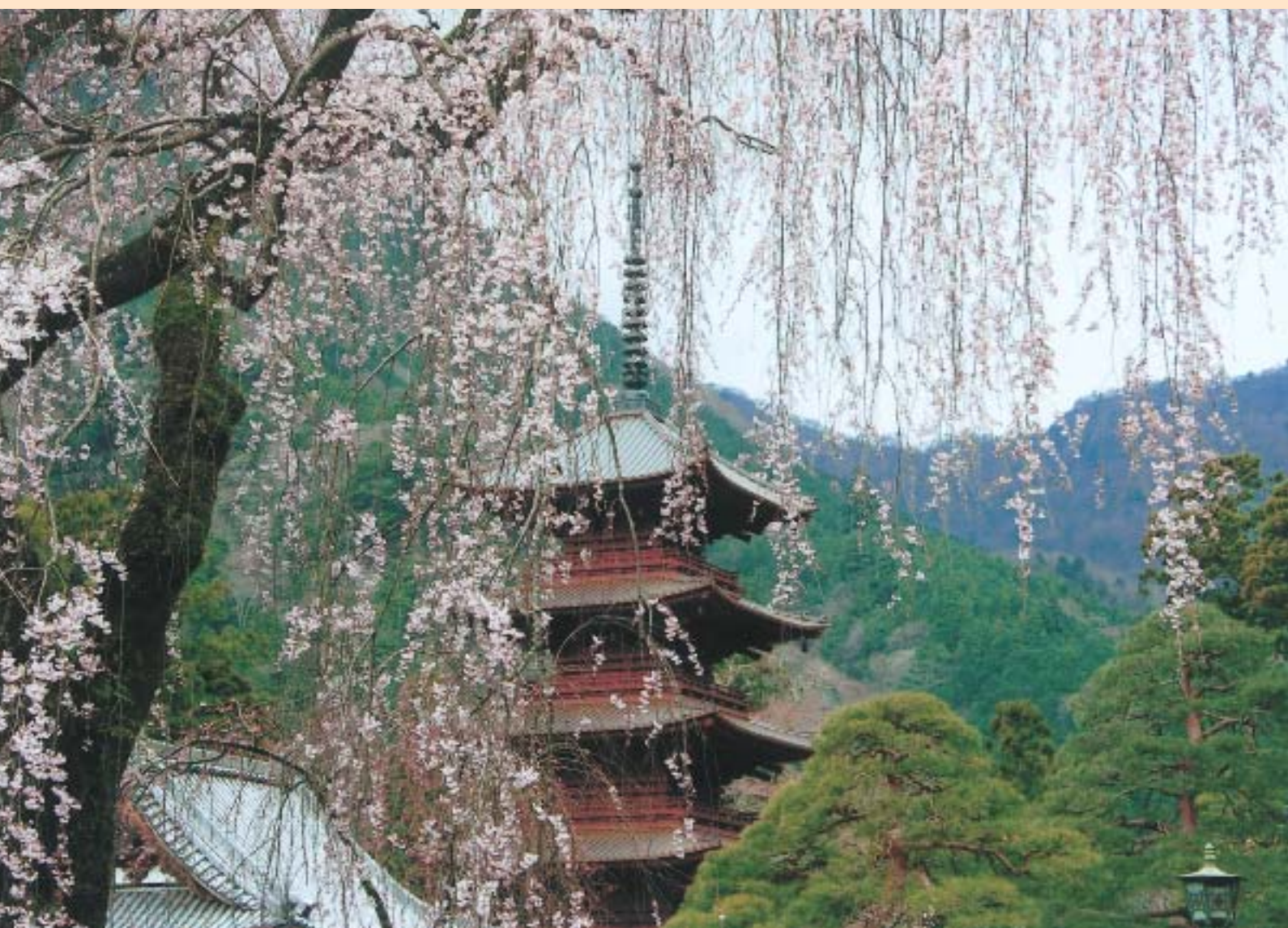
あなたと町政を結ぶ

議会だより



みのぶ

2009
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.18



さくらと五重塔のコラボレーション（撮影：深沢 徹氏）

3月定例議会

- 21年度当初予算を可決 P2～3
- 議案と質疑 P4～6
- 町長施政方針 P10
- 一般質問に4議員 P11～14
- 委員会レポート P15～17
- 【町民ひろば】若狭柳子さん P20

87億6,825万円



自然に恵まれた身延町

身延町三月定例議会は、九日午前九時から開会、十九日まで二日間の会期で開かれました。

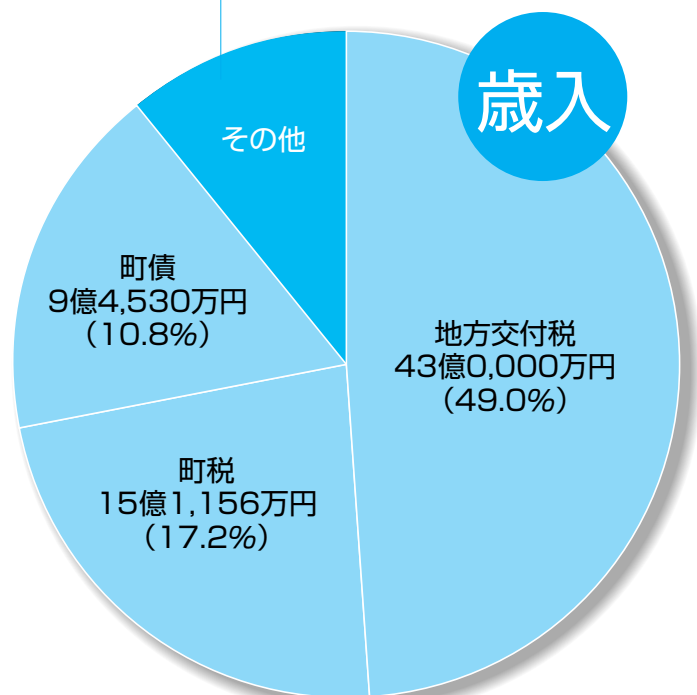
この議会では、平成二十一年度一般会計及び特別会計の当初予算二件をはじめ、二十年度の補正予算一件、条例の制定三件、条例の改正一四件、規約の変更一件、指定管理者の指定一件、請負契約の変更一件、財産の取得一件、財産の処分一件、人事案件三件、報告二件の六一件の町長提出議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、請願一件は、継続審査となりました。

一般質問は十二日に四人の議員が登壇し、行財政改革、将来の町づくり、農業振興対策、小・中学校の統廃合など幅広く活発な質問を展開し、町当局の考えをいただきました。

歳入合計 87億6,825万円 (100%)

その他の内訳

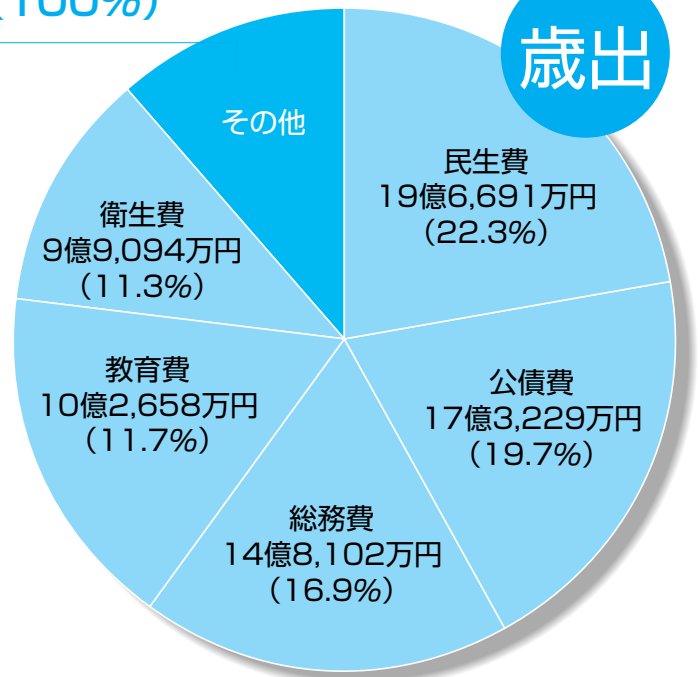
県支出金	4億2,930万円	(4.9%)
繰越金	2億5,800万円	(2.9%)
国庫支出金	2億5,400万円	(2.9%)
繰入金	2億4,212万円	(2.8%)
分担金及び負担金	2億0,741万円	(2.4%)
諸収入	1億5,595万円	(1.8%)
地方消費税交付金	1億4,850万円	(1.7%)
使用料及び手数料	1億1,421万円	(1.3%)
地方譲与税	1億0,200万円	(1.2%)
自動車取得税交付金	3,300万円	(0.4%)
地方特例交付金	2,350万円	(0.3%)
ゴルフ場利用税交付金	1,600万円	(0.2%)
財産収入	1,240万円	(0.1%)
利子割交付金	720万円	(0.1%)
配当割交付金	370万円	(0.0%)
交通安全対策特別交付金	258万円	(0.0%)
株式等譲渡所得割交付金	140万円	(0.0%)
寄附金	12万円	(0.0%)
その他の合計	20億1,139万円	(23%)



平成21年度一般会計当初予算 前年度対比7%減

歳出合計 87億6,825万円（100%）

歳出



その他の内訳

土木費	7億3,308万円	(8.4%)
農林水産業費	2億5,241万円	(2.9%)
諸支出金	2億2,679万円	(2.6%)
商工費	1億1,994万円	(1.4%)
消防費	1億0,118万円	(1.2%)
議会費	8,447万円	(1.0%)
労働費	4,264万円	(0.5%)
予備費	1,000万円	(0.1%)
その他の合計	15億7,051万円	(18.1%)

平成21年度当初予算の主な事業

事業	金額
介護保険給付費	17億3,503万円
障害者福祉サービス事業費	2億6,788万円
養護老人ホーム入所者保護措置費	1億2,571万円
児童手当	7,512万円
子育て支援医療費助成金	3,020万円
各種がん検診等委託料	3,772万円
町営バス・デマンド交通等事業	1億5,720万円
身延簡易水道建設費	2億1,657万円
下部簡易水道建設費	1億7,322万円
身延下水道事業建設費	4億8,270万円
下部下水道事業建設費	1億6,919万円
地籍調査業務(3カ所)	7,398万円
町道改良舗装工事事業費	1億1,718万円
農道・用排水路工事	3,135万円
ALT等臨時職員賃金	4,069万円

平成21年度特別会計予算

国民健康保険特別会計	21億0,011万円
老人保健特別会計	548万円
後期高齢者医療特別会計	4億6,839万円
介護保険特別会計	18億1,751万円
介護サービス特別会計	601万円
簡易水道特別会計	8億3,283万円
農業集落排水事業等特別会計	5,966万円
下水道事業特別会計	10億9,410万円
青少年自然の里特別会計	4,095万円
下部奥の湯温泉事業特別会計	935万円
財産区特別会計(12会計)	省略

主な質疑答弁

平成二十年度 一般会計補正予算

▼身延町有住宅管理条例 例の制定について

笠井万記議員

入居者の資格について公営住宅法の二〇万円以下の所得制限が撤廃されるとあるが、上限について明確に定めていない。最終的に誰が入居を許可するのか。

建設課長 町有住宅では上位法による所得制限がないので格段に利用し易くなると思う。最後は町長が決定する。

渡辺文子議員

町営住宅に住んでいる方の中には、共働きになったことにより所得が上がり、家賃が二倍以上になり、町外へ出て行かなくてはならなくなった人もいます。聞か、町有住宅の場合はそのような事はないのか。

建設課長 所得については、無制限なので、そのような事にはならない。

平成二十年度 一般会計補正予算

望月寛議員

入湯税が減額一五〇万円とあるが、滞納分についてはその後徴収が進んでいるのか。

税務課長

年度当初の滞納額一、五二〇万円の内二月末現在で一二三万円（八・三％）徴収した。なお、本年度の入湯税については、九二・七％の収納で、未徴収は一六〇万円位である。

望月広喜議員

ゴルフ場利用税が四〇〇万円の補正であるが、富士川カントリ、身延山カントリの個別明細を知りたい。

財政課長

増額の補正は、予想を上回って利用者があったためである。利用状況については、平成二十年三月～十一月の合計が、富士川カントリが一、七八二万円。身延山カントリが八六五万円である。

そのうちの本町に交付されるのは、富士川分が

一、一九四万円、身延山分が、三六八万円である。

望月広喜議員

施設利用税が富士川カントリが一回当たり六〇〇円、身延山カントリが四〇〇円、なぜ差があるのか。

財務課長

ゴルフ場の利用税については、四〇〇円～一、二〇〇円までの間でそれぞれの施設で決め、申請をし、納税する。

伊藤文雄議員

下山分館建設地質調査業務の一〇〇万円、建設設計業務の六二五万円が当初予算に計上してあったが、その後の進行状況は。

生涯学習課長

下山分館は、建設予定地が文化財保護地になっており、一月にレーザー探査を行った。二月には結果が出て来たので、下山地区へ報告し、最終の答えを頂く。

伊藤文雄議員

今後、計画は継続か又は廃止か。生涯学習課長 継続という形で進みたい。

渡辺文子議員

児童館の

土・日対応として賃金一〇〇万円の計上だが、多くの町民が望んでいた事で、良かったと思うが、どういう状況になるのか。

子育て支援課長

賃金一〇〇万円の内訳だが、第二・第四の土・日分として三六万円、学童保育の五ヶ所分が六四万円である。学童保育については、基本的に二人の指導員で運営しているが、学童数が多い事と、多動性障害が疑われるお子様が若干いることで、二人では厳しく三人で対応している。

伊藤文雄議員

基本的な二人の指導員で運営しているが、学童数が多い事と、多動性障害が疑われるお子様が若干いることで、二人では厳しく三人で対応している。

▼普通会計を特別会計に

日向英明議員

金山博物館、総合文化会館、現代工芸美術館、三館の会計処理について、歳入歳出が複雑で、一元性に欠けている。特別会計のように、理解しやすくするための改善策は。

財政課長

三館については、教育施設の一つであり、一般の税で賄うもの

と考える、特別会計は、単一予算で会計を処理していく、国保、下水道、上水道、簡易水道等、公営企業に準ずるものを現在設置している。

特別会計を

乱立することは、予算の統一的経理を阻害することになり謹むべき

松浦隆議員

住宅工事請負費二、五七六万円の減額、柿島団地建築工事外とあるが内訳は。

建設課長

外構工事、東屋、回りの植栽工事等の減額二、二五〇万円、浄化槽入札差金一二五万円、集会施設一〇〇万円等の減額である。



かわいい笑顔の西嶋保育園児

▼町営保育所と民間保育所との比較

望月明議員

①町営保育所全てが減額補正、民間保育所では、二、三九万円の増額補正だが、この要因は。②町営保育所と民間保育所の補正後の総額は、町営一億八、一三五万円、民間二億九六七万円だが、それぞれの園児数は。

子育て支援課長

①町営保育所と民間保育所の経費を比較した場合、園児

一人当たり民間の方が約三〇割低い金額で運営されている。民間の補正は途中入園児二八人の増員によるものである。

②町営五保育所の総園児数は一〇〇人。民間保育所は一九二人である。

伊藤文雄議員 林業土木費中、委託料、工事請負費が全額減額となっているが、説明を。

産業課長 福原の山腹工事については、実施に当たり、県の治山担当が現地を精査し、これ以上の崩落はないとの見解で、全額の減額となった。

伊藤文雄議員 福原の山腹工事はしないという理解でよいのか。

産業課長 その通りである。

川口福三議員 農林水産業費、アグリビジネスモデル確立支援事業補助金三三万円の内容及今後の展開は。

産業課長 農協における曙大豆の商標登録に関わる予算経費。県が二二万円、町が一二万円である。

▼平成二十年度身延町介護保険特別会計補正予算について

笠井万記議員 生活機能

評価事業の委託料二八七万円の減額の説明を。

福祉保健課長 生活機能評価の委託料の単価改定による差額分である。

当初予算九五三万円でありますが最終的な支出見込みが七五三万円でありその差額分である。

▼平成二十年度身延町下水道事業特別会計補正予算について

松浦隆議員 下部特定環

境保全公共下水道工事で工事場所の変更をするとの事だが、詳細説明を。

環境下水道課長 温泉街の工事の中で地下埋設物が非常に多く出て、工事が続行不可能の箇所が出てきた。関係者と現地を確認する中で、国の補助金も確定している事から二十一年度分を補助金に

見合った事業を前倒ししていく。難関箇所については、施工方法を再検討し行うことで、国、県とは協議が整っている。

▼平成二十一年度身延町一般会計予算について

奥村征夫議員 結婚相談

員報償費六二万四千円が計上されているが、何人どのような日程で活動をしているのか、そしてその成果は、と同時に新年度はどのような形で推進するのか。

福祉保健課長 相談員は各地域五人ずつ一五人で活動は、毎月一回、第二水曜日に定例会の開催、毎月第三日曜日身延支所にて相談実施している。報償費については、一人三万五千円×一五人で五十四万円、活動補助金として、三、五〇〇円×二人×一二ヶ月で八万四、〇〇〇円である。

▼集落敬老事業補助金の内容は。

奥村征夫議員 集落敬老

事業三九三万三、〇〇〇円の内容は。
福祉保健課長 昨年より結果的には増額になる。

昨年までは、集落のミニ敬老会的なものをした場合には、七〇歳以上の参加者数×一、二〇〇円で計算したが、二十一年度からは、そこに在住している七〇歳以上の人数×一、〇〇〇円となる。

▼緊急雇用創出事業に違和感あり。

渡辺文子議員 湯の奥金

山史跡の調査事業が計上されている。調査事業が本当に緊急雇用のための事業なのか疑問だ。誰にでも出来る仕事で生活が維持できる事を考えるべきだ。

観光課長 対象になる事業は、民間の企業、シルバー人材センターに委託しての事業、直接公共団体が実施する事業であるが、但し、労働期間が六ヶ月以内と短期間であり、検討の結果本事業に絞り込んだ。

芦澤健拓議員 本年度予算は、昨年度比六億五、二六四万円の減であり、また、性質別分析表を見ても細部に互り減額しており厳しく臨まれた事が伺える。町長は予算編成の中で、特に重点を置いたことは何か。

町長 道路整備又その他基盤整備については、継続事業を中心に考えた。厳しい財源の中、抑制は必然である。その他の継続事業としては、乗合タクシーの北部地域での運行、一五歳迄の医療費無料化等である。

観光課長 従来、市川三郷町と身延町で協議会を作り行っていたが、解散したため町単独で予算計上したものである。



デマンド交通

▼町立保育所配置について 委員会の経過と今後は。

河井淳議員 町立保育所配置等の検討委員会の経過と今後は。

子育て支援課長 平成十九・二十年度各三回開催している。それぞれの委員に賛否両論がある。二年任期の満了が十一月であるのでそれまでに提言として取りまとめたい。

河井淳議員 町営保育所と民間保育所では、経費が三割ほど違うということだが、委員会では、経費面で突っ込んだ議論をしているのか。

子育て支援課長 国庫負担及び保育料の仕組み、町立、私立の経費の比較等議論をしている。

望月秀哉議員 報償費中各地区公民館自主



身延町立図書館

事業とあるが、地区館ごとの説明を。

生涯学習課長 各地区の文化部の活動が、文化祭にこだわらず、自主的に

おこなっている事業である。

石部典生議員 過日、N

HKニュースでわが町の図書館が、地域の古い資料、古文書等を収集、整理しているとの報道を聞き誇りに思う。将来的には、町史の編纂に取り組む事も必要と思うが。

生涯学習課長 図書館の

スタッフが古文書に拘わらず、町内の古い資料をデジタル化し保存するための活動をしている。

日向英明議員 ①経常収

支比率・公債費負担比率の指標を見ると、本町の

財政状況は類似町村と比べて心配になるが。②一

般会計予算、対前年度比六億五、五〇〇万円の

マイナス予算だが経緯は。

財政課長 ①経常収支比率は県内で四番目の高水準である、公債費負担比

率も上がっており数値的には大変厳しい状況で、

今後これらを下げる努力をしていく。②予算編成

に当たり、財政健全化のため一般財源を五%減で

要求書を作成するよう職員に徹底した。

▼職員給与の削減は 来年度はするの。

日向英明議員 町長の施政方針のなかで職員給与

の見直しに触れられていたが。

総務課長 削減へ向けて検討を始め職員組合と話

し合いを進めている。

町長 現下の厳しい経済状況を考え合わせたと

き、職員と言えども考えなければならぬ。来年度からの方向で努力して

いく。

川口福三議員 ①運行対

策として町有バス、町営バス、路線バスの見直し

をするとしたが現状は。

②本栖湖のトイレだが、夏場の暑さは猛烈で、利

用が敬遠される、改善が急務だと思うが。

政策室長 ①路線バス等の見直しは、十月一日の

デマンド交通試行開始の関係があるので、それま

では路線の見直しを検討したい。

観光課長 ②二十一年度に向けて、機能等も十分

検討し対応する。

望月寛議員 報償費に、身体障害者相談員四人、

知的障害者相談員三人とあるが、いままでの活動実績は。

福祉保健課長 両相談員は県知事委嘱であり、町では、それに上乗せして

支払っている。活動報告はないが、任務の研修はしている。

望月寛議員 活動報告がないのは変だ。請求して

でも提出して貰うべきだ。

福祉保健課長 細かい報告はないが、今、障害者の数は千人近い、そんな

なかで相談員は頑張っている。

上田孝二議員 久那土駅、甲斐常葉駅のトイレがかなり汚れている。他所の

トイレと同様にシルバーなどへの委託が必要であるがこれらの清掃作業は

町では委託しているのか。

下部支所長 ボランティアの会の皆さんの善意に頼っている状況だ。

望月広喜議員 ①国保会計寄附金二〇万円の内訳

は。②基金の繰り入れ五、四〇〇万円だが、もう少し取り崩すことになれば

町民の理解が得られ易いと思うが。

会計管理者 ①中富地区

である。

町民課長 ②基金の取り崩しの関係だが、基金の

積み立ては、従来一ヶ月分の医療費に相当する額

を三ヶ月分積み立てる形で運営してきた。合併当時、五億八一九万円あつ

たものが今年度二億三千万円位になり、二ヶ月分の医療費のストックしかないことになり、税改正により三億円ぐらいの積み立てが必要だ。

奥村征夫議員 ①財産の取得について、共同住宅

二棟だが、総戸数は、又、間取りは。②売り手側で

修繕したものを取得するのか。

建設課長 ①建物は二棟で、一棟が三〇戸で計六〇戸、間取りは、三DK

である。②屋根、側溝等七点の修繕をお願いした。良い状態で取得でき

る。

上田孝二議員 家賃はいくら位の予定か。

建設課長 今のところ三万五、〇〇〇円位を考えて

いる。

専決処分

■平成二十年度身延町下水道事業特別会計補正予算（第五号）

節の振替で、予算額の変更はなし。

管渠用地所有権移転費用の補正。

※全員賛成で可決。

■平成二十年度身延町一般会計補正予算（第六号）

補正額

一、二三七万円

予算総額

九七億二八四万円

国の第二次補正予算に伴う定額給付金事業費並びに子育て応援特別手当支給事業費の補正。

※全員賛成で可決。

条例制定

■身延町に副町長を置かないことの条例の制定

副町長を置かないことを定めるもの。

※全員賛成で可決。

■身延町介護従事者処遇

改善臨時特例基金条例

の制定

介護報酬の改定に伴い、基金を設置するもの。

※全員賛成で可決。

■身延町有住宅管理条例の制定

雇用促進住宅の譲渡・廃止に伴い、身延町有住宅として取得・運営をするもの。

※全員賛成で可決。

条例の改正

■身延町監査委員条例の一部を改正する条例

財政の健全化に関する法律の施行に伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町長及び副町長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

昨年度に引き続き特別職の給料を減給するもの。

※全員賛成で可決。

■身延町教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

昨年度に引き続き特別職の給料を減給するもの。

※全員賛成で可決。

■身延町特別職報酬等審議会条例及び身延町長等の特別職員の給与及び旅費条例の一部を改正する条例

副町長を置かないことに伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例

裁判員の参加する刑事裁判に関する法律等の施行に伴い必要な事項を整備するもの。

※全員賛成で可決。

■身延町認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部が改正されことに伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町税条例の一部を改正する条例

※全員賛成で可決。

■身延町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令等の一部を改正する政令等の施行に伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町下水道条例の一部を改正する条例

身延浄化センター等の竣工に伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町宮駐車場条例の一部を改正する条例

下部温泉会館駐車場が整備されたことに伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町道路占用料条例の一部を改正する条例

道路法施行令等の一部を改正する政令等が施行されたことに伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町公共物管理条例の一部を改正する条例

道路法施行令等の一部を改正する政令等が施行されたことに伴うもの。

※全員賛成で可決。

■身延町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴うもの。

※賛成多数で可決。

指定管理者の指定

■本栖湖いこいの森キャンプ場の指定管理者

・施設の名称
本栖湖いこいの森キャンプ場

・施設の名称
本栖湖いこいの森キャンプ場

・施設の所在
身延町釜額二〇三五

・指定管理者となる団体の名称

特定非営利活動法人みのぶ

観光センター

・指定の期間

平成二十一年四月一日から平成二十四年三月三十一日まで。

※全員賛成で可決。

規約の変更

■峡南広域行政組合格約の一部変更

戸籍原本が記録されている電子計算機を峡南広域行政組合に集中管理を行うことに伴うもの。

※全員賛成で可決。



指定管理者になる本栖湖いこいの森キャンプ場（ホール）

補正予算

【一般会計】

平成二十年度補正予算

(第七号)

補正額

二億三、九八三万円

予算総額

九九億四、二六六万円

【補正の財源】

・町税 △三五〇万円

・地方譲与税

△四〇〇万円

・配当割交付金

△四八〇万円

・株式等譲渡所得割交付金

△三四〇万円

・地方消費税交付金

△一、二〇〇万円

・ゴルフ場利用税交付金

四〇〇万円

・自動車取得税交付金

△一三〇万円

・地方特例交付金

六三九万円

・地方交付税

一億四、三五四万円

・分担金及び負担金

九三九万円

・使用料及び手数料

二六一万円

・国庫支出金

△四五二万円

・県支出金

△二、三〇六万円

・財産収入

二、三五〇万円

・寄付金

一五四万円

・繰入金

△六、四二四万円

・繰越金

二億五六七万円

・諸収入

△四二九万円

・町債

△三、一七〇万円

【補正の支出】

・総務費

△二、三二四万円

・職員手当等を減額するもの。

・民生費

△五、三五〇万円

・特別会計繰出金等を減額するもの。

・衛生費

△一、五五〇万円

・乳幼児医療費助成金等を減額するもの。

・労働費

△二六万円

・報償費を減額するもの。

・農林水産業費

一四五万円

・重機等借上料等

一四五万円

・商工費 △一二二万円

・委託料等を減額するもの。

・土木費

△二、二五七万円

・工事請負費等を減額するもの。

・消防費

△一、〇八三万円

・報償費等を減額するもの。

・教育費

△五、八五五万円

・工事請負費等を減額するもの。

・公債費

二、一七三万円

・長期債元金繰上償還金

・諸支出金

四億一二二万円

・基金積立金

※全員賛成で可決。

平成二十年度一般会計補正予算(第八号)

補正額

五億五、〇七六万円

予算総額

一〇四億九、三四二万円

【補正の財源】

・地方交付税

三、五八九万円

・国庫支出金

五億五八七万円

・繰入金

九〇〇万円

・繰越金

二億四、六七三万円

・特定健康診査業務等を減額するもの。

※全員賛成で可決。

老人保健特別会計補正予算(第四号)

補正額

△九、九四六万円

予算総額

二億八、三八二万円

・医療給付金等を減額するもの。

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)

補正額

△四、九四三万円

予算総額

四億二、四三五万円

・保険料の制度改正等により減額するもの。

※賛成多数で可決。

介護保険特別会計補正予算(第四号)

補正額

三、〇〇六万円

予算総額

三、〇〇六万円



希望を胸に 下部中学校入学式

五億五、〇七六万円

予算総額

一〇四億九、三四二万円

【補正の財源】

・地方交付税

三、五八九万円

・国庫支出金

五億五八七万円

・繰入金

九〇〇万円

・繰越金

二億四、六七三万円

・特定健康診査業務等を減額するもの。

※全員賛成で可決。

老人保健特別会計補正予算(第四号)

補正額

△九、九四六万円

予算総額

二億八、三八二万円

・医療給付金等を減額するもの。

※全員賛成で可決。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第二号)

補正額

△四、九四三万円

予算総額

四億二、四三五万円

・保険料の制度改正等により減額するもの。

※賛成多数で可決。

介護保険特別会計補正予算(第四号)

補正額

三、〇〇六万円

予算総額

三、〇〇六万円

予算総額

一七億八、四三九万円
基金積立金等。

※全員賛成で可決。

簡易水道事業特別会計

補正予算（第三号）

補正額△一、九〇二万円

予算総額

八億八、二四九万円
工事請負費等を減額するもの。

※全員賛成で可決。

農業集落排水事業等特別会計補正予算（第四号）

補正額

△三八一万円

予算総額

四、〇二七万円

委託料等を減額するもの。

※全員賛成で可決。

下水道事業特別会計補正予算（第六号）

正予算（第六号）

補正額 一、九三四万円

予算総額

一七億八、七一二万円
繰上償還金等。

※全員賛成で可決。

青少年自然の里特別会計補正予算（第二号）

補正額 △二七万円

予算総額

△二七万円

四、二一一万円

報償費等を減額するもの。

※全員賛成で可決。

簡易水道事業特別会計補正予算（第四号）

補正額

一九一万円

予算総額

八億八、四四一万円
中富南部簡易水道取水ポンプ取替工事。

※全員賛成で可決。

契約の一部変更

身延下水道工事二〇一

一四工区（マンホール

ポンプ設置工事）工事

請負契約の一部変更

増額する金額

五七五万円

・変更後の契約金額

四、四六七万円

・契約の相手

新明和工業（株）産機

システム事業部

・変更理由

配線ルートの変更

※全員賛成で可決。

財産の取得

・財産の種類

雇用促進住宅

・予定価格

四、三八九万円

・売払人

独立行政法人 雇

用・能力開発機構

・取得の目的

町有住宅に供するため。

※全員賛成で可決。

財産の処分

・処分対象

不動産（土地及び立

木）

・処分の目的

中部横断自動車建設

工事の予定地

・予定価格

二、二一七万円

・買受人

国土交通省関東地方

整備局

※全員賛成で可決。

人事

人権擁護委員候補者の

討 論

審議の過程の中で、次のような討論が行われた。

反対討論

渡辺文子議員

□介護保険条例の一部を改正する条例

保険料を上げないで給

付準備金を使うべきであ

る。

□国民健康保険税条例の一部を改正する条例

値上げには反対し、予

防事業を充実させるべき

である。

□後期高齢者医療特別会計予算

高齢者いじめの制度改

悪は撤退すべきである。

賛成討論

近藤康次議員

□一般会計予算教育費

子どもたちの給食費の

値上げは理解できない。

また、臨時職員の賃金を

引き下げることに賛成で

現在の町の財政状況の中、この状況を脱却するには多少の妥協もやむをえず、町長の提案に賛成する。

推薦

片田 公夫氏（清子）

大八坂及び川尻並びに

山之神外五山恩賜林保

護財産区管理会委員の

選任

赤池 一之氏（根子）

赤池 政光氏（根子）

今福 歳男氏（八坂）

伊東多子美氏（天磯小磯

伊藤 敏夫氏（中ノ倉

赤池 篤氏（釜額）

赤池 修氏（釜額）

広野村上外九山恩賜林

保護財産区管理会委員

の選任

佐野 眞氏（常葉）

渡邊 昇氏（常葉）

小林 正道氏（清沢）

渡邊 敏夫氏（大炊平）

請 願

※以上、三件の人事案件は全会一致で同意。

消費者行政の体制・人員予算の抜本的拡充を

求める請願

※継続審査



町有住宅として運営される雇用促進住宅

望月町長の施政方針

「ふるさと定期便」スタート



平成二十一年三月定例議会において町長の施政方針が発表された。

施政方針

我が国の経済は、戦後最悪の不況に陥り、企業業績・雇用情勢・国民の生活に深刻な影響を与えている。

国の債務残高は、二十年度末時点で八四六兆六、九〇五億円と発表された。国民一人当たり約六六三万円になる。

身延町の地方債残高は、二十年度末見込で、特別会計も含め約一八三億円で町民一人当たり約一五万八千円だが、二十一年度末には約一七九億円となり一人当たりは

一二万九千円と減少する見込である。

今後、財政運営においては、対象事業の選択は十分考慮し、起債額は公債費の残額以内となるよう努めていく。

今回、提案している一般会計補正予算、特別会計補正予算については、事業の精査により歳入歳出予算ともに全般にわたって減額補正をしている。さらに、二十一年度一般会計予算は総額八七億六千八百万円余で、柿島町営住宅、西嶋公民館完成により、前年比七％、六億五千万円余を減額している。

特別会計では、総額六四億四千万円であり、身延公共下水道処理場の完成等により前年比約一四％、約十億四千万円の減額である。

本町の主な一般財源の地方交付税総額は、臨時

財政対策債を合わせて四八億円、歳入全体の約五五％で、国への財源委譲度の高さを示している。歳出については、一般職員の給与の減額を検討する必要があると考えており、努力していく。

本年度の主な事業としては、交通弱者対策として「みのお乗り合いタクシー」事業に北部地域を加えて町内全域での試験運行を実施する。子育て支援対策として、乳幼児医療費補助金の対象年齢を十五歳までとする。

「ふるさと定期便」を「みのお観光センター」へ業務委託してスタートする。

「身延いちいち運動」を展開し、ひとり一スポーツ、一芸で、体と心の健康維持を目指していく。

町道整備、農林業の基盤整備、簡易水道事業、下水道事業などは継続事業を中心に実施していく。特に、身延浄化センターが完成したので、大野地区は六月頃から、梅平・門内地区は九月頃から接続が可能となるので、早急な接続をお願いする。



ひとりスポーツ

教育委員長の教育方針



小松文雄教育委員長

ための研修
学校、児童・生徒の安全

社会教育

・青少年の健全育成
家庭・学校・地域の推進体制の確立。
・生涯学習の推進
学習講座、自主グループ育成、集落公民館整備。

・町民一人一スポーツ運動の推進・生涯スポーツ振興
軽スポーツ教室開催、スポーツ少年団の育成。

・芸術文化の振興・文化財保護
町民一人一芸運動推進。

・高度情報社会への対応
県内外図書館とのネットワークサービスによる情報提供。地域資料のデジタル化の推進。

・家庭教育の充実
親や家庭の役割を学校、地域、関係機関と連携し啓蒙啓発。

学校教育

・町立小中学校統合計画に基づく学校適正配置の推進
審議会の答申を基に、適正規模、適正配置を推進。

・特別支援教育の推進
特別支援学級の開設、特別教育支援員の配置、TTの活用。

・複式学級の解消および教科専任講師派遣
町採用教員および教科専任講師派遣。

・確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむため、次の事業に取り組む
図書教育の充実
情報教育の推進
国際理解教育の推進
食育の推進
教職員の資質向上の





3月定例議会

ここが聞きたい！

一般質問

3月定例議会では4議員が質問に立ちました。
以下はその要約です。

質問

職員の能力開発

自己啓発の取り組みは

答弁

辞めてもらっては困る
職員を目指してほしい



望月秀哉議員

問 職員の能力開発、パワーアップのための自己啓発の取り組みは。

町長 職員が常に全体の奉仕者としての自覚を持ち、今町民が何を求め何を期待しているかを把握し、仕事のプロとして、町民から「辞めてもらっては困る」と、言われるような職員になってほしい。この事を職員と約束し、課長会議等でも申し上げ実行に移しつつある。人事評価制度も最大限に活用していきたい。
総務課長 現在試行している人事評価制度は、日常の観察、面談等を実施

するなかで、一部勤勉手当の成績率へ反映させることができた大きな効果があがっている。今後とも昇任、昇格さらには給与面にも反映させていきたいと考えている。

問 職員一人ひとりの目標設定は。

総務課長 毎日の朝礼、終礼のなかで目標の発表、評価を話し合っている。年度当初、前期・後期に分け、年間目標を所属長に提出している。
問 業務についての提案制度はあるか。
総務課長 実施している。

質問 小さな役場大きな仕事集団について

問 定数削減によるスリム化の見通しは。
総務課長 定員適正化計

画は、平成十七年在職の二五九人を、二十二年四月二十九人減の二三〇人に、さらに長期計画として二十七年四月には、二〇五人とする計画である。今年は早期退職者を含め一〇人が予定されており二三〇人となり、計画より一年早い定数減となる。本町の地形的な面も考慮しながら今後も検討して行く。

質問 「身延うちまち運動」について

問 町長は、既存のスポーツ団体や公民館の教室を通じて推進すると言っているが、公民館活動の中でも、地区分館の活動が地域によっては停滞あるいは停止に近い状態となっている。「いちいち運動」も生涯学習による地域活性化の一端と位置づけ、その推進拠点として地区分館の活性化が必要と思うがその対策は。
教育長 町民一人ひとりが健康づくりのためのスポーツと、心の癒しのた

めの文化芸能活動を、生涯学習として取り組んでいる。

生涯学習は、社会教育とは異なり町民が個人あるいは団体で自発的に行うものと考ええる。公民館の活動も同様で、身延地区では、今まで四分館に配置されていた主事を廃止する予定である。

ある程度行政が関与しなければならぬと考え、体協、文協等と話しあって行くこととする。

質問 中部横断道開通のデメリット解消策

問 交通の利便性が向上することによって通勤時間が短縮され、町外への人口流出に拍車がかかり、過疎化が進むのではと心配する声がある。改めて長期的展望の視点から、このデメリットの解消策について町長に伺いたい。
町長 いわゆるストロー現象という事態を懸念されているの質問と思うが、私は逆だと考えている。

今まで時間がかかって通勤できないため町外へ出て生活していた若い人たちが、横断道の開通により通勤可能になり、この豊かな自然に恵まれた人情味の深い地域に住むだろうと考えている。観光面でも遠方からの日帰りも出来るようになる。雨などによる災害時の交通止めも解消し企業進出も増えるなど、案外メリットの方が多いのではと思われる。デメリットをなるべくなくすよう今後の町づくりに反映させるつもりである。



中部横断道起工式
(南部町)

町長のマニフェスト全般 について聞く

併答
全て、公約どおり実施でき
るよう努力していく



芦沢健拓議員

問 中部横断自動車道の

地域活性化インター設置
場所は、和田と下田原で
よいか。また、三沢・市
之瀬バイパスの見直しは。

町長 和田と下田原の二
箇所である。

建設課長 昨年十月、今
後の道路行政への意見・
提案の提出を求められ、
三沢市之瀬バイパス早期
着工、竹之島踏切改善、
大河内橋の架け替えを要
望した。

問 下部温泉、身延山、
和紙の里、一色のホテル、
本栖湖などの観光資源を
活かした観光振興計画の
具体的なイメージは。

町長 合併当時、職員数
は二六九人であった。今
年四月には二三〇人にな
る。今後、定員適正化計
画に基づき減員してい
く。地方分権で、仕事が
多様化・専門化し、仕事
量の増加が予想される。
それぞれの職務遂行能力
を高め、創意工夫と的確
な判断が求められる。人
事評価制度、研修、人事
交流による人材育成を図
る。

町長 近年、観光は生活
文化を求める形に変化し
ている。観光資源を、点
から線に結び、町民の
「おもてなしの心」をも
って、滞在型の観光を目
指す。

問 コミュニティビジネ
スの活性化と特産品作り
について聞く。

町長 JA、商工会、竹
炭企業組合などが、コミ
ュニティビジネスとして
活動している。中小企業
や住民の知恵とやる気を
支援する事業がある。ま
た、峡南衛生組合では、
発酵堆肥「峡南一号」を
開発、販売する事業を始
めている。

問 行財政改革のシミュ
レーションについて。

町長 合併当時、職員数
は二六九人であった。今
年四月には二三〇人にな
る。今後、定員適正化計
画に基づき減員してい
く。地方分権で、仕事が
多様化・専門化し、仕事
量の増加が予想される。
それぞれの職務遂行能力
を高め、創意工夫と的確
な判断が求められる。人
事評価制度、研修、人事
交流による人材育成を図
る。

問 健全財政化の施策に
ついて。

町長 本年度の当初予算
は約八七億七千万円であ
り、規模は平準化しつつ
ある。特別な事業、突発
的な災害等がなければ昨
年度当初予算規模を上回
ることのないよう努めて
いく。合併後十年で地方
交付税の算定替えがあ
る。五年間の減少額は約
八億円余である。合併当
初、基金が約四七億円あ
ったが、十九年度の決算
では約三四億円に減少し
た。基金を取り崩して町
政が執行されたというこ
とだ。

問 「ふるさと町民制度」
について。

町長 「ふるさと定期便」
は、みのお観光センター
に業務委託し、年一万六
千円で会員募集し、年四
回農産物や加工品を送
る。また、年一回「ふる
さとツアー」を計画し、
会員の意見を伺い、町の
再生の一助とする。

問 東海沖大地震の対策
で、保育所・学校・役場
などの耐震化は。

町長 小学校は全九校、
中学校は五校中四校、体
育館は、一七施設中一五
町立公民館は九施設中
七、庁舎は六カ所すべて、
保育所は五カ所全てが耐
震化されている。

問 県に要望している防
災ヘリポートについて。

町長 災害用ヘリポート
は設置が難しいという回
答である。

問 緊急時の六カ所のヘ
リ離着場の場所は。

町長 八木沢グラウン
ド、クラフトパーク、総
合文化会館、下部地区運
動場、中富中グラウンド、
勤労青年センターの六カ
所。

問 医療体制の充実のた
めの民間医療機関との連
携は。

町長 公立の飯富病院と
民間のしもべ病院、身延
山病院との連携である。
地域医療計画の中で医療
体制の維持に努めてい
く。

業について。
町長 農業では生活出来
ないというのが問題。高
齢化、後継者不足、山ビ
ルなどの有害鳥獣の被害
などもある。森林の保全、
林業従事者の問題にも取
り組んでいく。

問 女性の感性やお年寄
りの英知を活かした町づ
くりについて。
町長 婦人団体、老人ク
ラブ等から、町づくりに
ついて意見を聞く機会を
作っていく。



下部味噌蔵出しまつり

問 農業振興のための 現況打開策を問う

答 弁 後継者の確保と 特産品の生産拡大を



望月 明議員

程度手を加えれば耕作復帰ができる農地については、約二二八ヘクタールである。

問 昨年の未曾有の経済

不況は日本にも深刻な影響を与えており、国・県は産業・経済・金融面への対応策を立てている。一方、農業についても、見直しや振興策が必要と思う。町の農業振興に対する所見と対策は。

町長 国では、食料自給率向上や農業経営の企業化、遊休地の解消と農業生産の向上等の対策を進

めている。本町では、そうした国策の推進のほか、農業で生活していけることと、耕作放棄地の増加や農業従事者の高齢化、後継者不足などの原因を、一歩突込んで考え、解決していかなければと考える。

産業課長 農業振興の施策のうち、まず、農業従事者を増やすということが必要である。若い後継者を考えていくべきだが、いま、定年退職期を迎えている団塊の世代に注目したい。退職者の皆さんにも協力していただき、農業に従事してもらえればと思う。次に、生活していける農業については、大豆とりわけ曙大豆の生産である。幸い合併前から大豆生産は旧三町で続けられ、その加工品も、中富では豆腐・味噌、下部では味噌、身延ではゆばの生産が行われている。最近では大粒で味もよい評判の曙大豆を枝豆として出荷・販売する動きが高まっている。

問 学校給食について

質

とも、商工会で試みている。このように、大豆を主力として農業生産の拡大を図り、一方、労働力としては、前述の団塊の世代の方々に協力を願えばと考えている。

問 町内の学校給食の運営の概略と給食に対する評価はどうか。

学校教育課長

町内には四つの給食施設があり、一日合計一、三〇〇食を作っている。給食費は二十一年度から小学生二七〇円、中学生三〇〇円に値上げし、全町統一される。評価については、年数回子どもにアンケート調査をして、よりよい給食づくりに役立てている。

問 食の安全に関する問題への対応と心構えは。

学校教育課長

中国産きくらげに農薬が検出されるなど、各種報道の都度、本町内給食の食材について常にチェックし、事故

のないよう努力している。問 給食用食材の調達について、その方法は。

学校教育課長 献立は前月の下旬迄に作成し、献立に依じて、相当の食材をそれぞれの業者に発注する。町内の四つの給食施設に二十前後の業者があり、このうち約半分が町内の業者である。

問 将来的に給食用食材を地産地消によるべきと考える。これにより、食

の安全も確保でき、町内の農業振興も期待できると思うが、どうか。

学校教育課長 地元産の食材は理想だが現実には困難である。その理由は①一定の品質の食材を定期的に必要量確保できない。②価格の面でむしろ高くつく場合がある。③業者が多くなると集荷が大変となり給食センターの対応がむずかしい。しかし、商工会や農業団体の仲介で集荷・納品できるシステムができれば、地元産も利用可能である。

問 本町の農業は高齢化が進み、農業人口、経営耕地面積等減少し、現状維持も困難である。このうち、現在の就農人口はどのくらいか。また、それは全就業人口の何%か、さらに、耕地面積はどうか。

産業課長 就農人口は四、〇七九人であり、全就業人口七、二七五人に對し五六%である。また、統計上の耕作面積は五二九ヘクタールである。

問 町内の耕作放棄地はどのくらいか。

産業課長 山林・原野化した農地を省いて、ある



枝豆収穫体験

問 学校の統廃合は町全体の問題、保護者、地域住民の意見を聞く中で検討すべき。

答 弁 統廃合の計画を進める中で、保護者、地域住民の理解を得たい



渡辺文子議員

問 身延町立小中学校の統廃合については、本来、子どもの数が少ないから統廃合するという数あわせでなく、それぞれの地域の実情にあわせた学校の配置が、適正配置ではないのか。その意味で、行政がこの答申を受け、統廃合を進めていくということであるなら、保護者はもちろん地域住民の声はどこに反映されるのか。

教育長 よりよい教育環境を提供するにはどうしたらいいか、適正配置審議会を設置し答申をいただいた。教育委員会では今後の数字を見たとき、

適正な学校規模を適正に配置し、集団生活を通して学びあうことが大切であると考え、統合を望んでいる保護者の期待に応えられるよう努める。一部に不安、心配、戸惑いがあっても教育委員会の方針を理解してもらうため、関係者との話し合いを重ねる。

問 学校の統廃合は町の存続に関わる町全体の問題であり、保護者を始め住民の皆さんにきちんと説明し、広く意見を聞く中で検討をすべきではないか。

学校教育課長 まずは保護者に町の考えを説明し、その後、区長、地域住民、そして、学校にある学校評議員会などと充分話し合いを重ねて、計画で示した目標年度に到

達するために、急ぐということなく対処したい。

問 学校の適正配置は三段階で行うとあるが、その計画をきちんと示して住民の皆さんの声を聞く必要がある。町民へのお知らせはどのようなっているのか。

教育長 統合は三段階方式で行う。前期計画として、答申であげられた第一段階の六校の統合を来

年四月を目指して取り組み始めている。

問 説明会は、まず保護者から始め、区長、町会議員、学校教員などを含め、地域の人たちと話しをし、理解をしてもらう。

問 学校の統廃合は間違いなく通学時間が長くなり、そして自力では通学できないためバスの利用となる。これは友達と学校で過ごす時間を減少さ



大河内小学校卒業式

せ、地域住民とのふれあいもなくなる。さらに、地域の中で子どもを孤立させてしまう危険もあるが、果たして、これは教育上良いことなのか。

教育委員長 指導要綱に

基づき、体を、心を養う、またそれを育む、それを大前提のもとに統合問題も一つある。未来を担う児童や生徒を育成していくことを大前提に考えている。

問 就学援助制度の活用について

問 義務教育は、無償は憲法二六条で保障されている国民の権利であるが、現実には様々な費用がかかり家計を圧迫している。長引く不況の中、雇用が不安定な情勢のもとでこうした親たちを救うのが就学援助制度である。保護者への制度の説明や働きかけなど、細かい対応が必要だと思うが、制度の説明はどのようになっているのか。

学校教育課長 年度始め

に全保護者に対して、制度の内容を細かく記載した印刷物に申請書を付けて配布している。教師の家庭訪問の際も周知している。福祉担当課にも対応してもらっている。

問 申請を待つだけでなく、税金や給食費の納付状況など、町民課などと連携しきめ細かな対応が必要だと思うが。

学校教育課長 あくまで本人申請主義であるが、学級費の遅れや、失業された家庭などの状況を発見した際にはその都度対応している。



● 3月定例議会 ● 委員会レポート

3委員会に付託された議案30件を原案通り可決、請願1件については継続審査とした。

総務常任委員会

委員長 望 月 広 喜

質疑応答

▼地縁団体の税務上の取り扱い

問 地縁団体とは。

答 区などのことで、従来は法人格が認められなかったが、認可された。

問 税務上の申告義務は。

答 減免措置はあるが、特に、収益があれば課税対象となる。

問 地方譲与税及び配当交付金の著しい増減は。

答 道路関係の譲与税は、自動車関連の不況が原因で、先行き不透明である。

問 法人町民税の収入見込みが甘いのでは。

答 決算が見込まれている数字で、それほど減額は考えられない。

問 町内に電気・自動車関連企業は何社か。

答 電気関連が二社、自動車関連が三社ある。

問 柿島町営住宅は、入居者の所得制限があるが、満室になるのか。入居に関する緩和措置は。

答 公営住宅法と、国、

県の補助金との関連もあり困難である。

問 町外の人が町営住宅に入れるような魅力作り支援はできないか。

答 担当課で検討する。

問 ふるさと雇用再生特別基金、緊急雇用事業臨時特例基金による事業補助金は中小企業への融資か。

答 個人、法人を問わず民間に対する資金貸付ではなく、行政が公共のために供する施設管理等で雇用を創出するために用いるものである。

問 職員退職手当組合の現況は。

答 組合の運営が厳しいのは事実で、近々負担割合の見直しがある。

問 静岡市との交流事業の具体的な内容は。

答 静岡市と検討する。

問 門前町サミットは。

答 平成十九年に脱退した。現在は、二戸市・七戸町と身延町の枠組みで「二日国替え事業」を行っている。

問 町制要覧作成の計画概要は。

答 今回、町に転居してきた人への配布を想定して、ダイジェスト版二千部印刷の予定である。

問 乗合タクシーの試行実績と、今後の計画は。

答 現在、一日平均約二十八人が利用している。十月一日から下部・中富地区二台で試験運行を行う。

問 利用者への周知方法は。

答 三月中に開催する下部・中富地区の区長会で概要説明を行い、各対象集落でも説明会を行う。

問 住民からの声を聞く機会は。

答 試験運行しながら、随時利用者から意見を聴取して利便性を向上する。

問 乗合タクシーの運行に伴う町営バスの見直しは。

答 町全体を対象に検討していく。

問 「ふるさと定期便」はどのように実施するか。

答 年会費一万六千円で一回四千円程度の詰め合わせを年四回発送する。

問 一回あたりの金額と

内容の関係はどうか。

答 原価を考慮しながら旬のものを、身延観光センターと相談しながら実施する。

問 「働く婦人の家」の報償費減額の理由は。

答 フォークダンスと気功術の講師が死亡したためである。一部自主運営で行っている。

問 自主運営で、受講者に負担を強いることは、「いちいち運動」の趣旨に反するのでは。

答 最終的には、ボランティアによる運営を目指す。来年度は二回程、自己負担をお願いする予定。

問 自主防災組織資機材整備費補助金とは。

答 自主防災組織に購入費の二分の一または十萬円のいずれか低い額を補助する。

問 公債費償還のピークはいつか。

答 一般会計は二十年度。町全体では二十六年

度、二十七年度を想定している。

問 財政運営は順調か。

答 過疎対策事業債、合併特例債等、財政的に有利な起債を行い、事業の選択も十分検討する。

問 基金の現在高は。



静岡市との交流事業

【現地調査】

・西嶋分館
・西嶋小学校、静川小学校、下山中学校、身延小学校、豊岡小学校

質疑応答

▼介護保険関係

問 介護従事者処遇改善臨時特例基本条例とは。

答 介護報酬の改定に伴う保険料の増額に対する特例交付金の受け皿として制定するもの。

▼国民健康保険関係

問 国保税、介護保険料、さらに来年度は、水道料等町民負担が高くなってくるが町の現在の財政は。

答 医療費は、多くなれば国保税にはね返り、交付税等の減により今後とも苦しくなってくると思うが、合併したことによりこの程度で済んでいると考える。

▼住基カード関係

問 申請者数は。

答 一三二人。

▼障害者福祉費関係

問 精神障害者の相談員は。専門性が問われるた

め福祉事務所の職員が対応している。峡南圏域相談支援センターでも対応している。

問 峡南圏域には、精神障害者のグループホームがない、建設計画はあるか。

答 峡南圏域内に専門の医療機関がなく難しい状況。

▼児童福祉費関係

問 保育所民営化についての論議はされているか。

答 民営化についての議論は行われていない、指定管理について今後議論されると考えている。

問 他町の保育所へ行かせる親が増えていることについて。

答 児童福祉法では、保育所の選択は、親の判断で決めることができ、それを制限することはできない。公立保育所の定員は各保育所とも四五人だが、現在ほとんどが半数あるいはそれ以下で、園児数減少状況は続く。

問 町外へ通園している園児数は。

答 三五人。祖父母の住所地、保護者の勤務地等

の理由による。

問 町外に流出した園児を呼び戻すために通園バスを設置する考えは。

答 現時点で独自の送迎バスは、考えていない。

▼保健衛生費関係

少子化対策の一環として、妊婦の一般健康診査の助成対象回数五回を二十一年度から一回に改正する。また、不妊治療費も二十一年度から町でも年一回二〇万円を限度に通算五回まで助成する要項を作成した。

問 妊婦一般健康診査の利用できる医療機関は。

答 県内ほとんどの医療機関（産婦人科）で利用できる。富士市、富士宮市の産婦人科医院とも契約を結んでいる。また、里帰り時等、県外の病院での受診は、一時立替への償還払いで対応する。

▼衛生費関係

問 簡易水道水質検査は。

答 水質検査は毎月、選択項目検査年四回、浄水全項目検査年一回を、中富七地区、身延七地区、

下部二地区で実施。

問 クリプト検査については四地区年八回を予定。

問 上田原の水質状況について。

答 定期的に清掃作業をしているので改善してきている。さらに水質改善も含め、下田原との統合認可を予定している。

▼教育費関係

問 給食費値上げの前に据え置きのための努力をしたか。

答 小麦粉の価格が上がったので週二回のパン食を一回に、栄養価が同程度の価格の低い食材に代えるなどの努力をした。

問 中学校の修学旅行費、選手派遣費、遠距離通学費について説明を。

答 *修学旅行助成金―経費の二分の一、一人一〇万円程度、（引率教師分含む）と事前視察費。

*選手派遣費―公式大会参加交通費・宿泊費。

*遠距離通学費―中富中、身延中生徒のバス・電車定期代の補助。

問 教育研修センター設

置を見直すつもりはないか。

答 地教法で町単独で指導主事を設置するよう努めなさいとあり設置は必要。教育事務所長の経験もある現任者の果たしている役割は大きい。

問 小中学校の統合について、住民への周知が足りないのでは。

答 議会へ先ず計画を示して、それから公にするという考えであった。今後、地域への説明会、広報などでも町の考えを伝えていく。

▼付帯決議

身延町立小中学校の適正規模、適正配置等について、平成二十二年度にこだわることなく、地域の実情にも十分配慮して総合的に対応すべきである。



産業建設常任委員会

委員長 伊 藤 文 雄

【現地調査】

- ・ 和田中山間事業
- ・ 米倉農道
- ・ 身延山五重塔

【議案審査】

▼身延町有住宅管理条例の制定

問 現入所者と新入所者の家賃体系は異なるのか。

答 家賃体系に違いはなく、町営住宅と同じ形で契約する。

問 現入居者との契約はどのようなのか。

答 町と再度契約をする。

問 毎年家賃は変わるのか。

答 毎年所得等を申告し計算するので、それにより家賃も変わってくる。

問 新入居者は四月一日から入居できるか。

答 四月一日から入居の公募をするので、即入居は可能である。

問 収入の上限はあるのか。また、制限を定めているのか。

答 公営住宅法に伴わない住宅であり、所得制限は定めていない。

問 敷金、礼金は今の時代に合わないのでは。

答 礼金はない。敷金は住宅法に準じ入居時の家賃の三ヶ月分と定めており、滞納家賃等がある場合はそれに充当し、ない場合は退去時に全額返金している。

問 継続入居者の部屋は修繕しないのか。

答 修繕はしない。空き部屋については独立行政法人雇用・能力開発機構において修繕が完了している。

▼本栖湖こいの森キャンプ場の指定管理者の指定

問 協定書の内容は。

答 第一章の総則から第十章その他までとなっている。

問 NPOみのお観光センターに事業費補助金が計上されているが、管理運営費に使われることはないか。

答 提出された「指定申請書」を見る限り、そのようなことはない。

▼一般会計予算

問 地籍調査推進委員と

はどのような役割か。

答 各地区に一〇人以内で町長が委嘱し三地区で三〇人をお願いして事業を推進している。主に土地不明者の調査や現地で境界の紛争が発生した場合に相談にのってもらう。

問 河川水質検査及び土壌の検査場所の決定方法は。

答 山梨県環境科学検査センターに委託している。検査は河川水質検査四一カ所、土壌検査は下山の工業団地内の一カ所である。

問 キッズISO一四〇〇〇のプログラム及び評価業務とは。

答 東京の国際芸術技術協力機構が開発したもので、各家庭で電気、水道、灯油、ごみについて一週間計測して、その結果を家族で話し合い、計画を立て、検討することにより、環境意識の啓発を促進する事業である。

問 有害鳥獣の捕獲状況は。

答 三二〇頭捕獲した。

問 有害鳥獣防除用資材費の補助申請の手続方法は。

答 申請書に見積書を添付して申請する。

問 申請は個人でも団体でもできるのか。

答 個人も団体もできる。

問 里山エリアの内容は。

答 森林と集落の間に緩衝地帯を設ける事業で実際に間伐と竹林の皆伐を行う。

問 和紙アドバイザーの報償費が計上されているが、その成果は。

答 西嶋和紙工業組合

が、年一〇回専門的な技術指導を受け、新製品の開発等に成果を得ている。

問 急傾斜崩壊対策事業負担金の八カ所は。

答 下部地区三カ所、中部地区一カ所、身延地区四カ所。

問 公有財産購入費で用地取得の単価の考えは。

答 過去の事例や県等の事例を勘案し単価を定めている。最近の土地の評価は下落方向にある。

問 申請書に見積書を添付して申請する。

問 申請は個人でも団体でもできるのか。



和田農作業準備休憩施設（中山間事業）

視察研修報告

議会報告会の実施に向け

福島県塙町に学ぶ

議会運営委員会 委員長 奥村 征夫

・研修日程

二月二十四日～二十五日 議会報告会について

・参加者

議員 一七人

事務局 二人

・研修目的

【塙町の概要】

福島県のほぼ南端に位



研修を受ける議員

置し、面積は二二・六〇平方キロメートルで表日本型の気候を示し、年間平均気温一一度、内陸盆地的な気候を有している。

【調査内容】

塙町は、全員協議会で議会の活性化を図るために、小委員会を立ち上げ、子ども議会、女性と議会議員との懇談会を開催し、さらに多数の議員や住民の声を聞く中で、議会報告会の実施が決定され、平成二十一年一月二十九日、第一回議会報告会を四会場で実施、その後検証を行った結果、非常に良かったとの意見があり、定例会終了後に実施することになった。

また、会議規則の一部改正を行い、反問権の導入など議会の活性化を目指して、議員一同が研鑽を深めている。

【まとめ】

町議会は、議事機関と

議会日誌

12月		
15～16日	平成20年第4回定例会	
16日	議会広報編集委員会	
19日	例月出納検査	
22日	飯富病院組合議会定例会	
26日	仕事納めの式	
1月		
1日	新年祝賀会	
5日	仕事始めの式	
6日	議会広報編集委員会	
11日	身延町成人式	
13日	御年頭会	
14日	地方の元氣回復対話交流会	
16日	議会広報編集委員会	
18日	身延町消防団出初式	
20日	例月出納検査	
30日	簡易水道運営審議会	
	正副議長・議会運営正副委員長会議	
2月		
3日	身延山節分会	
4日	町村議会正副議長・委員長研修会	
5～6日	議会運営委員会	
8日	広域行政組合議会議員研修	
9日	富士川駅伝大会	
	後期高齢者医療広域連合議会	
3月		
1日	身延高等学校卒業証書付与式	
2日	議会運営委員会	
3日	身延山高校卒業証書付与式	
4日	全員協議会	
6日	身延地区最終区長会	
7日	三愛運動推進大会	
13日	山梨県市町村自治研修会	
19日	町村議会議長会	
20日	例月出納検査	
24～25日	議員研修（福島県塙町）	

して町の重要な施策の決定と執行機関の監視の役割を担っている。

さらに、地方分権が推進されている今日、議会の役割はますます重要となっている。

このような状況の中で、本町議会では議会改革の一環として、開かれた議会、身近な議会、町

民と協働する議会を目指して、本年度議会報告会を実施する計画である。

この報告会は、議会自らが地域に向いて、議会運営状況や課題の取り組み状況等について、説明責任を果たすと共に、意見や要望等を聞き住民との意思の疎通を図り、町政に対する提言などを

町民から直接受けることで、町政の諸課題に柔軟に対応し、議会の政策提言機能に資するものと考ええる。

議会報告会の実施にむけて、議員が共通課題を模索し、心を合わせ取り組んでいくことを希望する。

組合議会

峡南衛生組合 議会定例会

三月二十四日

◆平成二十年度一般会計
補正予算(第二号)

補正額 四十万円
予算総額

五億九、〇七三万円
職員手当等を減額するもの。

◆平成二十一年度一般会計
予算額

五億二、六一七万円

飯富病院組合 議会定例会

三月二十五日

◆病院事業の設置等に関する条例中改正

診療科目名の訂正と通所定数を変更するもの。

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正

人事院規則等の一部改正に伴うもの。

◆諸収入条例中改正
各文書料等を是正する

もの。

◆職員の給与に関する条例中改正
調整手当を是正するもの。

◆平成二十年度病院事業
会計補正予算(第四号)

補正額 △六、〇五三万円
備品購入費を減額するもの。

◆平成二十一年度病院事業
業会計予算

十六億二、九四九万円

峡南広域行政組合 議会定例会

三月三十日

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例中の改正
刑事裁判に関する法律の施行に伴うもの。

◆平成二十年度一般会計
補正予算(第四号)

補正額 △六六二万円
予算総額 一五億八、四五二万円
電算リース料等を減額

するもの。

◆平成二十年度介護保険
特別会計補正予算(第三号)
補正額 三五六万円
予算総額 二億四、七四二万円
介護保険基金積立金

◆平成二十年度ふるさと
市町村圏特別会計補正
予算(第二号)

補正額 一、一〇五万円
予算総額 二、一三五万円
基金積立金等。

◆平成二十一年度一般会計
予算額

一五億三、〇九〇万円
◆平成二十一年度介護保険
特別会計
予算額 二億四、四七六万円
◆平成二十一年度ふるさと
市町村圏特別会計予
算 一、三五四万円

後期高齢者医療広域 連合議会定例会

二月九日

◆議会議規則の一部改

正

◆地方自治法の一部を改
正する法律の施行に伴う
もの。

◆議員の報酬及び費用弁
償に関する条例の一部
改正

◆医療に関する条例の一
部改正

所得の低い方への負担
軽減の対策に伴うもの。

◆臨時特例基金条例の一
部改正

基金の使用用途の拡大
と期間の延長に伴うもの。

◆平成二十年度一般会計
補正予算(第二号)

補正額 一、九五九万円
予算総額 六億一、四四三万円
基金積立金等。

◆平成二十年度特別会計
補正予算(第二号)

三月定例会の審議日程

三月九日(月)

◆開会 本会議
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・諸般の報告
・町長行政報告並びに
施政方針
・教育委員長教育方針
・提出議案の報告並びに
上程

三月十日(火)

・提出議案の説明
・提出議案に対する質
疑、討論、採決

三月十二日(木)

・提出議案の委員会付託
・一般質問(四人)
三月十三日(金)

・教育厚生常任委員会
三月十六日(月)

・総務常任委員会
三月十七日(火)

・教育厚生常任委員会
三月十八日(水)

・産業建設常任委員会
・教育厚生常任委員会

三月十九日(木)

◆本会議
・付託議案に対する委員
長報告
・委員長報告に対する質
疑、討論、採決
・委員会の閉会中の継続
調査
・追加提出議案の報告並
びに上程
・追加提出議案に対する
質疑、討論、採決
・町長あいさつ
◆閉会



すぐ近くには、恐山があります。恐山は、日本三大霊山（恐山、高野山、比叡山）日本三大霊場（恐山、白山、立山）そ

東京駅から、東北新幹線「はやて」で八戸駅まで二時間五十三分、青森県に到着です。でも私の故郷は、ここから在来線に乗り継ぎして陸奥湾沿いを走る大湊線下北駅まで行き、更に下北バスにて約一時間十分、やっとたどり着きます。



日本三大霊山 恐山

して日本三大霊地（恐山、立山、川原毛）として「霊」が三つもつくにふさわしい、硫黄臭が立ちこめる荒涼とした風景はまさに異空間が漂います。春と秋には恐山の大祭があり期間中は「イタコ」の「口寄せ」といって先祖の霊や亡くなった友人・知人や肉親など、死者の世界とこの世に生きる人たちの仲立ちとなつて、今は亡き人たちの意志を伝える「仏降ろし」



身延町に嫁いで

身延町古関
若狭柳子

が行われます。

又、本州最北端地大間崎には、マグロのモニュメントがあります。今では、テレビで度々放映され全国から大間のマグロを堪能したいと沢山の観光客で賑わっています。

北海道へのアクセスもあります。大間「函館へ行くフェリー」も、一日二往復運航されています。所要時間は約一時間四十分です。

実家の周りには、観光地が多く年々訪れる方々の人数も増えていると聞いています。

又、家の目の前の津軽海峡の先には、北海道の恵山が見えます。冬には雪化粧をした恵山が海に浮かぶ姿は格別です。

初夏から初秋にかけ津軽海峡には、夜になるとあたり一面いか釣り漁船の漁火が海に広がり一つの街ができたような幻想的な光景がとても美しく夜空を照らします。



近くには、下風呂温泉があります。刀傷を癒す湯として室町時代から多くの湯治客が通い続けています。

又、文豪井上靖が小説「海峡」を書き上げた地としても知られています。

故郷を離れてあらためて、四季折々景観のいいところだと感じています。

身延町に嫁いで来たときには、生活習慣や方言などで戸惑ったこともありましたが、今では、地域の方々に支えられ今日があると感謝しています。

編集委員会 だより

金融危機に雇用不安、底の见えない不況の中、平成二十一年度がスタートした。

地方交付税への依存度の高いわが町の予算は前年度比マイナス七％六億五千万円余の減額予算となった。行財政改革は必至であり、健全財政構築に向けた努力に怠りがあつてはならない。今こそ官民が理解を深め、一体となり、協力協働による、町づくりが必要である。

小さな投資で大きな効果、町民ニーズへの的確な対処能力の向上等「三人寄れば文殊の知恵」必ずや、近い将来光明を見出す事が出来るだろう。

(S・F)

(注) 「三人寄れば」衆知を集めれば」